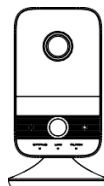


HIC-SQ201W

Wi-Fiキューブカメラ



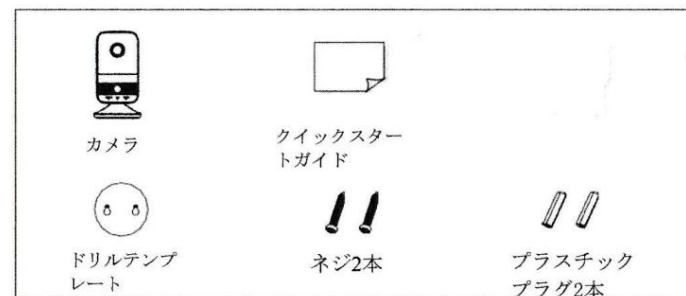
クイックスタートガイド

- 製品を使用する前に本ガイドをよく読み、今後参照できるように保管してください。
- ここで使用されている例と写真は参考用です。
- 本ガイドの内容は予告なく変更されることがあります。

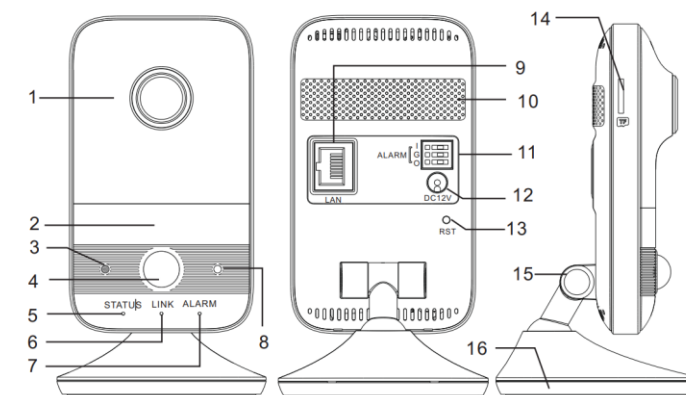
1. 警告と注意

- 製品が正常に動作しない場合は、販売店にお問い合わせください。カメラを自分で分解しようとししないでください。(不正な修理やメンテナンスによって生じた問題については、一切責任を負いません)
- 使用中は水などの液体がかからないようにしてください。
- 製品の使用に際しては、国や地域の電気安全規制を厳格に遵守しなければなりません。製品を壁に取り付ける場合は、装置はしっかりと固定させてください。
- 指定された範囲を超えた電圧を入力しないでください。
- カメラを落としたり、物理的な衝撃を与えたりしないでください。
- カメラのレンズには触れないでください。
- 清掃が必要な場合は、清潔な布で優しく拭いてください。長期間使用しない場合は、レンズを覆ったうえでカメラを汚れから保護して保管してください。
- 太陽や非常に明るい場所にカメラを向けしないでください。CMOSセンサーがダメージを受け、
- 極端に高温、低温(動作温度は-10℃~45℃)、埃の多い場所、湿気の多い場所に置かず、高い電磁放射にさらさないでください。
- 熱の影響を避けるため、良好に換気かれた環境で使用してください。

2. パッケージ



3. 概要



1	レンズ	9	イーサネット(PoE対応)
2	赤外線LED	10	スピーカー
3	マイク	11	アラーム接続 (I/G/O)
4	PIR(パッシブ赤外線)センサー	12	電源コネクタ
5	電源インジケータ	13	リセットまたはWPS
6	ネットワークインジケータ	14	マイクロSDカードスロット
7	アラームインジケータ	15	3軸ブラケット
8	光センシング	16	取付台

● アラーム接続:

I: アラーム入力 **O**: アラーム出力 **G**: アース

アラーム入力: センサーのケーブルを**I**と**G**に接続します。

アラーム出力: アラーム出力デバイスのケーブルを**O**と**G**に接続します。

● インジケータ

電源インジケータ: 緑色→カメラは正常に起動中。

ネットワークインジケータ: 青色点滅→カメラは有線ネットワークに正常に接続中。

アラームインジケータ: 赤色→アラームが発報中。

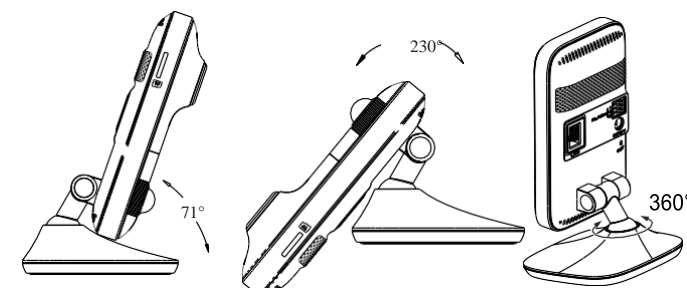
● リセット

カメラの電源がオンのときにリセットボタンを約10秒押しと、デフォルト設定に戻ります。

● WPS

WPS (Wi-Fiプロテクトセットアップ): ルータのWPSボタンを押してから、120秒以内にカメラのリセットボタンを押して、Wi-Fiをすばやく接続します。カメラのリセットボタンを押してからルータのWPSボタンを押しても同様に機能します。Wi-Fiが接続されていると、赤いアラームインジケータが点滅します。

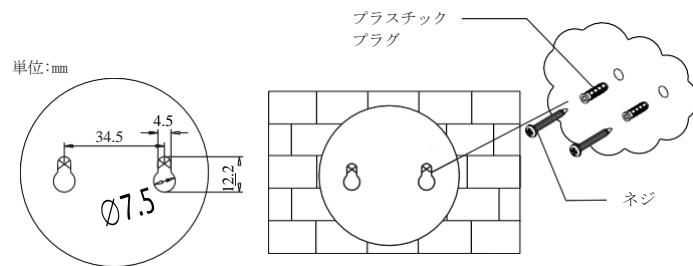
● 3軸ブラケット調整



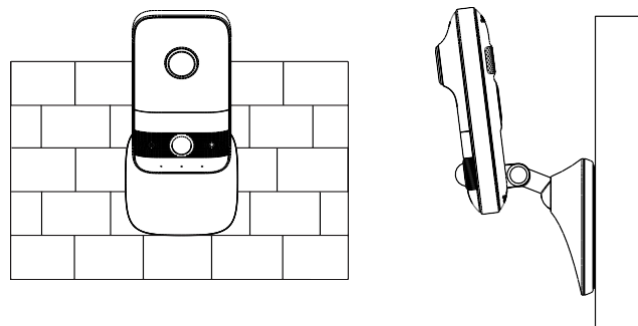
4. 設置

カメラはデスクトップに置くことも、壁に設置することもできます。壁面がカメラの3倍の重量に耐えられるほど十分に強いことを確認します。壁面取付の手順は以下の通りです。

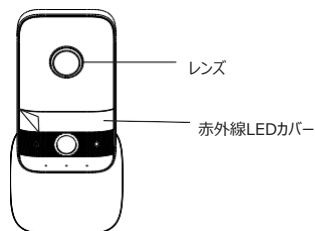
- (1) カメラを固定する場所にドリルテンプレートを貼りつけます。次に、ドリルテンプレートに従って壁にネジ穴を開けます。
- (2) ドリルテンプレートを剥がし、プラスチックのプラグとネジをネジ穴に差し込みます。壁とネジの間には少し隙間を空けてください。



- (3) ケーブルを配線して接続します。
- (4) 取付台をネジに引っ掛け、カメラがしっかりと固定されていることを確認します。次に、ブラケットの角度を調整します。

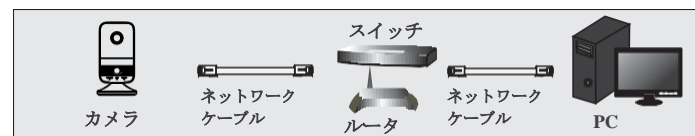


- (5) レンズと赤外線LEDカバーの保護フィルムを剥がします

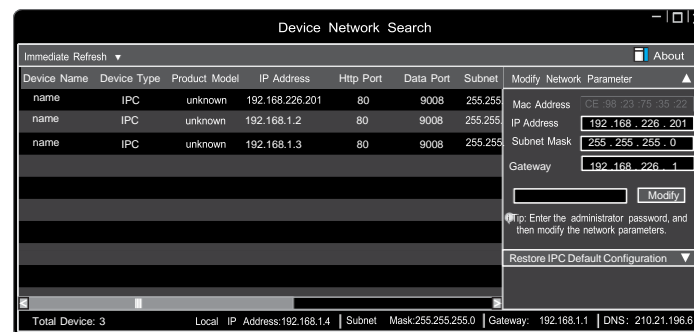


5.ネットワーク接続

● 有線ネットワーク経由でカメラにアクセス



- (1) カメラとPCをLANで接続します。
- (2) ハイテクインター(株)のホームページからIP ToolをダウンロードしてPCにインストールします。インストール後IPToolを実行します。



- (3) このカメラのデフォルトのIPアドレスは192.168.226.201です。
上の図の該当カメラの行をクリックすると、右側にネットワーク情報が表示されます。必要に応じてカメラのIPアドレスとゲートウェイを変更し、PCと同じローカルネットワークセグメントに設定します。変更後、カメラの管理者パスワードを入力し、「Modify」ボタンをクリックして設定を変更します。

⚠ 管理者のデフォルトのパスワードは「**123456**」です。

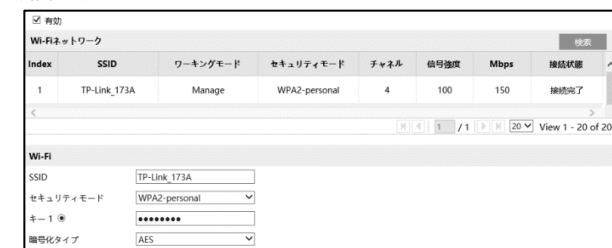
- (4) IPToolに表示されているIPアドレスをダブルクリックするか、Webブラウザのアドレスバーに手動でIPアドレスを入力してカメラを接続します。次に、指示に従い該当するプラグインをダウンロードしてインストールします。その後、ログイン画面にユーザー名とパスワードを入力します。

⚠ デフォルトのユーザー名は**admin**です。
デフォルトのパスワードは**123456**です。

● Wi-Fi経由でカメラにアクセス

- A : WPS機能でWi-Fiをすばやく接続することができます。
- B : 以下の手順に従ってWi-Fiを接続することもできます。

- (1) ネットワークケーブルでカメラとPCを接続します。
- (2) IPToolを実行し、カメラのIPアドレスを見つけます。このカメラのデフォルトのIPアドレスは192.168.226.201です。IPアドレスをダブルクリックするとカメラのログイン画面に移動します。ログインするためのデフォルトのユーザー名とパスワードを入力します。
- (3) "設定"→"ネットワーク"→"WIFI"とクリックして次の画面へ移動します。



- (4) Wi-Fiを有効にし、「検索」をクリックしてアクセスポイントを検索します。目的のアクセスポイントを選択し、暗号キーを入力して暗号化タイプを選択します。その後、「自動的にIPアドレスを取得する」を選択するか、「以下のIPアドレスを使う」をクリックして手動でIPアドレスを入力します。
- (5) ネットワークケーブルをカメラから抜きます。ネットワークケーブルを抜くと、Wi-Fi接続に切り替わります。
⚠ LANケーブルでネットワークに接続されている状態ではWi-Fiは有効になりません。LANケーブルは必ずネットワークから切断してください。PoE給電の場合は、PoE装置はネットワークに接続しないでください。
- (6) 電源ケーブルを抜き挿しして、カメラを再起動させます。PoE給電の場合は、ネットワークケーブルを抜き挿しします。
- (7) IPToolを実行し、IPアドレスまたはMACアドレスでカメラを見つけます。次に、IPToolに表示されているものをダブルクリックするか、WebブラウザのアドレスバーにカメラのIPアドレスを入力してカメラにアクセスします。

